

No.	10	分類	3-(1)-イ	資料名	父の汗	学年	2・3年	領域	道徳	1-(2)
-----	----	----	---------	-----	-----	----	------	----	----	-------

### 1 ねらい

- 私たちの生活が様々な職業によって支えられていることを認識し、それぞれの仕事を担う人たちの思いや考えを知りながら、自分の興味や適性を踏まえて、自分の将来を考え、自分の力を社会のために役立てていこうという意欲をもつ。

### 2 趣旨

- 自分の好きなことには熱心に取り組むことができるが、関心のないことについては、その意味を理解できないまま取り組む生徒も見られる。現在の学習と将来の仕事が結びつかないと考える生徒もあり、学習の動機の弱さにつながっていると考えられる。
- 本資料は、自分の将来について真剣に考えたことがなかった「哲治」が、叔母や友人の話をきっかけに、仕事について考えるようになり、そして、父の仕事に対する周囲からの評価を聞いて、いつも父から言われる言葉の意味を捉え直す姿を描いている。
- 興味のある職業について考えさせたり、「トライやる・ウィーク」での体験を想起させながら、確かな勤労観や職業観を育み、自分の希望の実現のための知識や技術を身につけていこうとする意欲をもたせたい。

### 3 配慮事項

- 生徒の進路希望の実態を把握し、キャリア教育の推進と連携を図りながら学習を進める。

### 4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 興味がある職業について話し合う。	・「トライやる・ウィーク」を終えていれば、その体験も想起させながら自由に意見交換をさせる。
2 資料を読み、「哲治」の将来の夢に対する思いの変化について考える。	
「お父さんの仕事を継いだらいい。」と言われ、「哲治」はどのように思ったでしょう。	
・その通りかもしれないな。 ・そんなこと、まだ考えていない。 ・自分の将来を決めつけられているようで不満だ。	・将来の職業について自覚できず、まだ真剣に考えていないことを捉えさせる。
井上君の何だか物足りなさそうな顔を見て、「哲治」はどのように思ったでしょう。	
・井上君が納得するような意見が言えなかった。 ・しっかりとした理由が言えないのが少し情けない。	・哲治自身が、仕事についてあいまいな動機しかないことに気づいていることを認識させたい。
「格好だけの勉強だったら」という父の言葉を聞いて、何を思ったでしょう。	
・悔しいけれど父の言う通りだ。 ・父はもう自分に期待していないのかな。	・父の言葉が妙にひっかかったのは、井上君や中田君との会話があり、自分のなかでも仕事について考えようとしていたからであることを認識させたい。
3 哲治が自覚した内容について話し合う。	
父の「大工の仕事はな…」という言葉が、「哲治」に、なぜはっきりと聞こえたのでしょうか。	
・言葉の意味が理解できた。 ・自分の将来を真剣に考えたいと思えた。 ・「お客さんに喜んでもらえる仕事をするのが職人の誇りだ」という父の気持ちがよく分かった。	・職業を選択するにあたっては様々な要素が考えられるが、やりがいを感じられることや自己実現ができることもその一つであることを認識させる。
4 感想を書く。	